



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年3月5日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 8041 URL <http://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営基盤グループ (氏名) 中江 一夫 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	236,825	△4.4	123	△91.8	105	△93.8	△127	-
24年3月期第3四半期	247,610	△0.2	1,508	△10.3	1,714	△15.9	1,344	△0.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △209百万円 (-%) 24年3月期第3四半期 1,388百万円 (24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.33	-
24年3月期第3四半期	24.60	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	89,672	15,301	17.1	280.03
24年3月期	70,340	15,840	22.5	289.79

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 15,300百万円 24年3月期 15,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	6.00	6.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期（予想）	-	-	-	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	△4.9	△350	-	△450	-	△620	-	△11.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	55,622,921株	24年3月期	55,622,921株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	985,177株	24年3月期	977,820株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	54,641,066株	24年3月期3Q	54,650,893株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に景気は緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務問題、海外経済の減速、日中関係の悪化などの影響から輸出や生産は減少し、また、雇用・所得環境は一部に改善の動きがみられたものの依然厳しく、個人消費は総じて低迷するなど持ち直しの動きはこのところ弱い状態となっております。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識から購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,368億25百万円（前年同期比95.6%）となりました。損益面では、売上総利益は162億46百万円（前年同期比90.7%）となり、営業利益1億23百万円（前年同期比8.2%）、経常利益1億5百万円（前年同期比6.2%）、四半期純損失1億27百万円（前年同期は四半期純利益13億44百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は増加したものの販売単価の低下により売上高1,487億86百万円（前年同期比96.0%）、冷凍鮭鱈の市況下落などの影響による売上総利益率の低下及び貸倒引当金繰入額の増加によりセグメント損失32百万円（前年同期はセグメント利益8億28百万円）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、消費低迷、販売競争の激化などによる販売数量の減少、販売単価の低下により売上高871億59百万円（前年同期比94.7%）、間接経費全般の節減に努めましたが売上高の減少によりセグメント利益1億95百万円（前年同期比41.0%）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、天然物の豊漁、全国的な養殖ブリの在池量増加に加え、競合する魚種（サーモン、カンパチなど）による市況の影響を受け、養殖ブリの販売単価の下落により売上高43億36百万円（前年同期比90.3%）、間接経費全般の節減などに努めましたが販売単価の下落を吸収できずセグメント損失1億81百万円（前年同期はセグメント利益1億47百万円）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、平成23年9月より生産を開始した定塩鮭冷凍製品の販売が寄与し、また、前期末にて連結子会社が1社増加したことにより売上高33億68百万円（前年同期比124.6%）となりましたが、米などの原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失92百万円（前年同期はセグメント損失1億62百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、新規顧客の開拓に努め、また、通過物量が年末にかけ回復基調で推移し売上高16億61百万円（前年同期比102.2%）、セグメント損失28百万円（前年同期はセグメント損失59百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高33億21百万円（前年同期比96.4%）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント利益12百万円）となりました。

なお、平成25年2月14日に公表いたしましたとおり、当社連結子会社の不適切な会計処理が判明し、平成25年3月期第3四半期報告書の提出が遅延となり、当社株式が監理銘柄（確認中）に指定されましたことは誠に遺憾であり、株主の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて193億31百万円増加し、896億72百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加143億23百万円、たな卸資産の増加38億19百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて198億70百万円増加し、743億70百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加109億93百万円、借入金の増加90億17百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて5億39百万円減少し、153億1百万円（自己資本比率17.1%）となりました。主な要因は、四半期純損失の計上1億27百万円及び配当金の支払3億27百万円による利益剰余金の減少4億54百万円、その他有価証券評価差額金の減少88百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月7日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,182	3,548
受取手形及び売掛金	29,055	43,378
商品及び製品	16,958	20,761
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	128	144
その他	1,326	1,081
貸倒引当金	△279	△408
流動資産合計	49,371	68,506
固定資産		
有形固定資産	12,112	11,925
無形固定資産	2,897	3,379
投資その他の資産		
投資有価証券	4,973	4,842
その他	2,831	2,852
貸倒引当金	△1,846	△1,832
投資その他の資産合計	5,958	5,861
固定資産合計	20,968	21,166
資産合計	70,340	89,672
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,152	31,146
短期借入金	15,795	24,820
1年内返済予定の長期借入金	1,291	5,748
未払法人税等	120	104
賞与引当金	705	321
その他	3,726	4,078
流動負債合計	41,791	66,220
固定負債		
長期借入金	6,768	2,303
退職給付引当金	2,450	2,491
役員退職慰労引当金	68	82
負ののれん	42	4
その他	3,377	3,267
固定負債合計	12,707	8,150
負債合計	54,499	74,370

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,153	6,153
利益剰余金	3,382	2,927
自己株式	△243	△244
株主資本合計	15,788	15,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	374	286
繰延ヘッジ損益	△3	5
土地再評価差額金	△324	△324
その他の包括利益累計額合計	46	△32
少数株主持分	5	1
純資産合計	15,840	15,301
負債純資産合計	70,340	89,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	247,610	236,825
売上原価	229,691	220,579
売上総利益	17,918	16,246
販売費及び一般管理費	16,410	16,122
営業利益	1,508	123
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	117	117
負ののれん償却額	274	38
その他	156	158
営業外収益合計	556	318
営業外費用		
支払利息	256	254
その他	94	82
営業外費用合計	350	336
経常利益	1,714	105
特別利益		
受取和解金	—	60
特別利益合計	—	60
特別損失		
投資有価証券評価損	70	5
事務所移転費用	—	39
その他	—	3
特別損失合計	70	47
税金等調整前四半期純利益	1,643	118
法人税、住民税及び事業税	74	107
法人税等調整額	223	140
法人税等合計	297	248
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,345	△130
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,344	△127

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,345	△130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△88
繰延ヘッジ損益	△3	9
土地再評価差額金	52	—
その他の包括利益合計	43	△78
四半期包括利益	1,388	△209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,387	△205
少数株主に係る四半期包括利益	1	△3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	150,079	89,898	2,933	1,218	868	244,998	2,611	247,610	—	247,610
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,945	2,142	1,870	1,484	758	11,201	832	12,033	△12,033	—
計	155,024	92,041	4,804	2,702	1,626	256,199	3,444	259,643	△12,033	247,610
セグメント利益 又は損失 (△)	828	478	147	△162	△59	1,231	12	1,244	263	1,508

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額263百万円には、セグメント間取引消去887百万円、のれんの償却額△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△611百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	144,342	85,117	2,708	1,337	887	234,394	2,431	236,825	—	236,825
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,443	2,041	1,627	2,030	773	10,917	890	11,807	△11,807	—
計	148,786	87,159	4,336	3,368	1,661	245,311	3,321	248,633	△11,807	236,825
セグメント利益 又は損失 (△)	△32	195	△181	△92	△28	△139	△1	△141	264	123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び水産物仲卸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額264百万円には、セグメント間取引消去933百万円、のれんの償却額△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△660百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。